

平成24年 理事候補者 選挙公報

理事候補者 (全国選出)

JF6MIT 宮川 香枝子

(経歴) ・昭和58年 JF6MIT開局
 ・第2級アマチュア無線技士
 ・JARL庶務本部長 3期
 ・JARL理事 九州地方本部長 5期

今日までの長期のご支援に、心から感謝申し上げます。
 今期は一般社団法人に移行して改革を軌道に乗せる大切な年で、先送りのできない課題山積ですが

◆包括免許

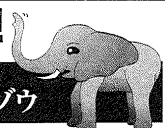
◆財政の安定化

◆新生JARLのための組織整備

等について会員の視点に立ち、問題解決へ積極的に取り組みます。
 併せて、アマチュア無線の更なる地位向上を目指して頑張ります。
 皆様のご支援をお願い申し上げます。

チェンジ、チェンジ、チェンジ!

JARLを改革するツウ



JATELY

草野 利一
 現在 JARL理事1期在任中
 電子版ウェブサイト編集長
 PLC行政改革原長

今、動かないと将来禍根を残す。PLCの屋外利用問題!
 我々「象さんグループ」は、JARL改革の要である体制面から取り組みをさせて頂き、①理事の任期制(連続4期まで)、②定年制(75才未満)、③選挙の単記投票制の3本柱を皆様のご支援で実現することができました。これらにより独裁政治とも言われた体制から離別し、JARL改革の展望が開けてきました。

今、新生JARLでは「意思決定プロセスの情報公開」も以前より良い方向に向かっていきます。

次なる課題は、④「財政改善と安定化」、デジタル時代に合ったJARL使命のもと⑤「事業活動の活性化」です。それには多くの同志が必要です。「象さんグループ」を全員当選させてください。ガンバリます!

「象さんグループ」のマニフェスト

- 会員目録の組織運営と各種委員会の機能の改善を図ります。(一般社団法人の運用・事務面では「行政色」を排除し「執行責任制」理念をベースとします)
- 平成25年度の財政・収支監査を1期実施します。(事業区分けと外部委託費の見直しを行い、全体的な財務改善を行います)
- 前納会員の権利を保障します。
- QSL転送は受益者負担の考えを導入します。
- ARDFをJARLの事業から分離します。
(<http://www.144.jp/senkyo/>)

JA5MG 稲毛 章

[経歴] 昭和31年 3月 第1級アマチュア無線技士
 昭和57年 5月 (社)日本アマチュア無線連盟理事・四国地方本部長就任
 平成23年11月 一般社団法人日本アマチュア無線連盟 会長就任

[所信]

JARLは80余年の歴史の中で着実な歩みを続けていますが、新法人への改革を検討した結果、昨年11月に一般社団法人日本アマチュア無線連盟へと生まれ変わりました。新法人で大きな転換は「社員制度」を取り入れた事で、会員皆様の声は社員を通じてJARLの運営に反映され、社員が一同に集まる「社員総会」がJARLの最高議決機関となりました。

当面の課題としては、財政面で非常に厳しい状況にあり、2~3年の間に収支のバランスを図り、安定した財政運営にすることです。会費前納者の取扱いについても早急に結論を出す必要があります。拡大した事業の見直しも必要で、会員皆様も最も望まれている事業を継続し、率先して推進してまいります。

私は今回、全国の会員皆様のご支援を得て、理事候補に選出賜りたく立候補致しました。新しいJARLのより一層の発展と、会員皆様のため誠心誠意全力を尽くします。従前にも増して、絶大なご支援をお願い申し上げます。

選挙活動の中心は、JARL改革の要である体制面から取り組みをさせて頂き、①理事の任期制(連続4期まで)、②定年制(75才未満)、③選挙の単記投票制の3本柱を皆様のご支援で実現することができました。これらにより独裁政治とも言われた体制から離別し、JARL改革の展望が開けてきました。今、新生JARLでは「意思決定プロセスの情報公開」も以前より良い方向に向かっていきます。次なる課題は、④「財政改善と安定化」、デジタル時代に合ったJARL使命のもと⑤「事業活動の活性化」です。それには多くの同志が必要です。「象さんグループ」を全員当選させてください。ガンバリます!

チェンジ、チェンジ、チェンジ!

JARLを改革するツウ

ぜひ私たちを執行部に送り込んでください。

JH1XUP 前田吉実

理事を1期勤めさせて頂きました。
 ①改革のために理事の体質改善を実施し、定年制、理事の任期制、選挙の単記投票を実現しました。
 ②財政問題検討ワーキンググループのメンバーとして、財政上の、問題点を精査し赤字予算を黒字化に出来るよう、予算システムを整えました。

JARLは確実に替わります。
 会員目録で今後とも改革を推進します。まだ改革の途中です。再度私に理事を継続させて頂いて下さいますようお願いいたします。

私の目標
 (1)前納会員の権利を守り財政を黒字にします。(平成25年度)
 (2)事務局の経費を削減し会員サービスに経費を振り向けます。(地方本部費を増額し予算制にします)
 (3)JARL NEWSのWEB化、QSL転送制度の見直し、コンピュータシステムに掛かっている年間5千万もの費用を削減します。
 (4)包括免許制度の導入に尽力します。
 (5)JARLのビジョンを策定しJARLをブランド化して会員増を図ります。
 <皆で魅力あるJARLを作りましょう!>
<http://www.144.jp/senkyo/>

JG1KTC

メールアドレス: jg1ktc@jarl.com

氏名 高尾 義則 昭和32年生 54歳
 現職 学校法人 東邦大学 勤務
 現在 全国選出理事2期目在任中
 略歴 1974年開局、資格アマほか
 元アワードコンテスト委員、元監査指導委員、元公益法人改革実務委員、財政問題検討会議委員、HAMフェア実行委員、「アウトドア」主宰、CQ誌「移動運用セミナー」執筆者中。

JARL改革・再生、お力をお貸しください

「所信」
 JARL運営にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。在任中は、会員サービスを継続し財政削減に最大限努めて参りました。収支バランス不均衡の是正、会員皆様の視点に立ち一緒にJARL活性化、会員皆様のための真のJARL、魅力あるJARLを目指してさらに尽力します。何卒、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■QSLカードの短期間安定転送実現
 今後、転送情報公開、毎月転送復活を目指す。
 ■改革・再生、会員第一の魅力あるJARLに
 ■構造改革、人事刷新、財政再建、組織活性化
 ■若年層・ニューカム・HAMの育成、電子QSL検討
 他にも難關山嶺、何事にも積極的に取り組みます。
 Webにて活動報告並びに所信の詳細を掲載しておりますのでご覧をお願い申し上げます。
 JG1KTC 検索 <http://out-door.jp/>

JA1LVB

伏見 美幸

昭和37年JA1LVB開局
 昭和55年監査指導委員・支部役員
 平成20年神奈川県支部長

- ☆ 組織の徹底した見直しをします。必要なものは残し、無駄なところは徹底して変えます。
- ☆ 神奈川県の支部運営の経験を活かし会員主体のJARLにします。
- ☆ JARLの基本構成単位である支部組織を堅持します。(規則第4条)
- ☆ いつまでも赤字予算編成は続けられません。収支バランスのとれた予算編成にします。
- ☆ 会費前納会員との契約は厳守します。

JA3ATJ

坂井 紀久男

<http://blog.zaq.ne.jp/ja3atj/>
<http://www.tcn.zaq.ne.jp/ja3atj/>
 E-mail: ja3atj@jarl.com
 第2級アマチュア無線技士(74歳)

QTH 大阪府 高槻市

- 59年 JA3ATJ 開局
- 68年 旧関西支部役員以来各種委員 歴任
- 84年 評議員 6期 12年
- 96年 コンテスト委員長 3期 6年
- 98年 @jarl.com 登録サポート 4年
- 00年 理事 1期 2年
- 10年 80,04年につき 通常総会議長 長
- 現在 監事 (10-5-30 総会終了時)

一般社団法人のスタートを機に
 厳しい環境に対応できる
 活みなぎる組織をめざす。
 日々新たな気持ちと旺盛な開拓心で
 課題に挑戦し 目標達成を。
 「打てば響く」迅速な行動と
 地道な活動の積重ねを実践。



理事候補者（全国選出）（続き）

JARL改革を停滞させぬ為に… JAφOZZ 伊部雅一56歳（新潟県柏崎市在住）

<所信> 私は51歳で信越地方本部長（理事）に就任し以後3期6年JARL改革の為に積極的
活動をすると自負しています。 若輩が出席した理事会の印象はJARL存続危機に対する
緊張感が無く失礼ながら「大先輩たちが居並ぶ良き時代のサロン」改めて問題の根深さを感じ
新人では有りましたが積極的発言と行動を心掛ける覚悟でない理事を実施しました。

- * QSLカード停滞問題の解決の為に、島根のビューローの視察を行い自作チェックシートで
全工程の再確認した結果、問題はビューローだけでなくJARL体質及び旧ビューローから
の問題等が判明。改善を行い滞納の解消に至りました。……最良のあるべき姿を求めて……
- * 名古屋総会以後設置された「定款・規則等改正審議委員会」では中核委員として活動、発言
等は全て議事録にて前例無き全内容公開を実現。……新たな体勢への前進……
- * 現在は最大問題、『財政問題検討ワーキンググループ』の主要メンバーとしてJARL再生を
検討中で内容は理事会議事録にて随時公開。……将来を考えたJARLの為に……

昨年3月に発生した「東日本大震災」では電力や通信が崩壊し連絡手段が途絶えましたが非常時におけるアマ
チュア無線の有効性が再認識されました。 JARL不要論を唱える方も一部おりますがアマチュア無線唯一
の公益団体として全国組織のJARLは必要不可欠でそれを支えるのは支部、地域クラブです。

地方本部長職は管内行事、理事会、対総務省など対外業務で年間休日の過半数を費やす無報酬のボランティア
です。 家族の理解に恵まれなければ動きません。私も6年間勤めたので人心一新、後進に託し、一ハムに
戻りたいところなのですが、今回の理事選では相当数の入れ替えが予想され経過不案内新理事による
JARL再生の道が頓挫、停滞、後退を杞憂し 改革に専念出来る全国区に立候補しました。

原 恒 夫 JA8ATG 1アマ ex HS1AHM,9N1AT,S21ZY,3W6JP

今、アマチュア無線人口は激減しており、若い方の取り込みが
急務となっております。JARLは、組織を上げて青少年育成に取
り組まなければなりません。私は、20年間の北海道地方本部長、
7年間の「NPO 法人ラジオ少年」の青少年育成活動の経験を生
かし、若い方のアマチュア無線への取り込みを強力に推進する所
存です。皆様のご支援をお願いいたします。

私の重点活動

- 1 次代を担う青少年育成に努力します。
- 2 収益事業を充実し、財政の安定化に努力します。
- 3 秋葉原にJARL会館を建設し、日本やアジアのアマチュア無
線活動の活性化に努力します。
- 4 私達の要求を行政や関係団体に訴え、実現する努力をします。

活動は、ホームページをご覧ください。 <http://www.ja8atg.com>

JA8LJF 佐々木 淳一

無線の資格 第1・2・3・4級アマチュア無線技士を含み11種
趣味等 第1級・特殊小型船舶操縦士、電子情報通信学会正員等
所属クラブ JASC(ジャスク)(身体障害者の無線クラブ JR1ZNH)
U/SHF道北ハムクラブ (JR8YGE) 事務局、

JARLが一般社団法人になり、外見は改革されたように見えます。会員の
減少も緩やかになりましたが、財政的にも危機的状態に積立金を毎年取り崩
している事実が変わりありません。どんな組織でも腐敗するのは頭からで
ることは、歴史が証明しています。会員一人一人の力は大きくありませんが、
みなさんが力を合わせれば本当の意味で改革できると思います。何十年も無
駄なことに予算を垂れ流し、会員の意見を真摯に受け止めないから不健全な
組織のまま衰退しているのです。みんなで一緒にJARLを変えましょう。

理事候補者(関東地方本部区域選出)

チェンジ、チェンジ、チェンジ!



JARLを改革するゾウ

JA1NVF

AHØJ(デニアン)

JARL会員の意見と希望の実現、組織改革に取り組む。1票を大切に!

【アマチュア無線は、趣味です】
もっと自由にいいじゃないですか。
今⇒JARLを大きく改革しようじゃありませんか!
JARL会員の多くの方は、
現状に満足されていないでしょう。
現時点における「諸問題の解決」に努力します。

●国との交渉力を持つJARLに、
凝り固まった規定をほぐすために。

私が目指す改善目標項目

- ◎コールサインを自由に選べる
- ◎日本型「Vanity Call Sign」の導入。
- ◎海外コールサインのポータブル運用許可。
- ◎発信できる周波数の拡張。
- ◎試験や免許の簡素化
- ◎主要務QSLカード転送の改善。

アマチュア無線を生きがいの感じる趣味として。

★DXにも目を向けて世界の友人とQSOを楽しもう。
★無線を通して自由に楽しく、生きがいを感じましょう。

J H I U B U
根本紀正

【経歴】
昭和16年(1941)1月2日生
昭和44年(1969)アマチュア無線開局
昭和47年(1972)茨城県支部役員(会計)就任
昭和55年(1980)茨城県支部長就任
平成20年(2008)関東地方選出理事に当選
同年 関東地方本部長を辞命
平成23年11月副会長就任
現在に至る

【所信】
平成20年以來関東8都県の会員の方々に一方ならぬご支援を受けこの4年間を大過なく終わることが出来ました。心から皆様にお礼申し上げます。
先日の新聞報道によれば周波数の再編で900メガヘルツ帯が携帯電話に割られてきた。多機能携帯電話(スマートフォン)会社がごぞって参加し「周波数移行にかかる費用を最も多く負担できる者」として最高額の2千100億

円を各社が入れた。結局、総務省が落札者を決めることになったと報じていました。いわゆる周波数のオークション方式が本格的に2013年から導入されようとしております。
今、JARLの組織を強化し、我々の權益を組織で守らなければアマチュア無線など無くなってしまいかも知れません。日本に唯一のJARLを盛り立て、人と人とのコミュニケーションの最たる手段であるアマチュア無線を守って行くにはありませんか。
私たちはJARLは財政が逼迫しております。これは会員減少に基づくものであります。種々努力をしておりますが止むを得ずあります。経費の節減も限界に来ております。前納会員の皆様のお力添えをお願いする時期に来てしまいました。なんとかが皆様の御智で切り抜けていきたいと思っております。
関東地方本部長の守備範囲は大変広いです。誠心誠意ネットワークを使い、ことに当って参りたいと思存します。あなたと一緒に最良のアマチュア無線をつくらせていきたいです。
是非なるご支援を心からお願い申し上げます。

理事候補者(中国地方本部区域選出)

チェンジ、チェンジ、チェンジ!



JARLを改革するゾウ

JR4OZR

久木田 春美

【経歴】
1951年10月 熊本八代市生まれ 60歳
1971年 1月 第1級アマチュア無線技士JF1PJK開局
2000年10月 ブータンDXペディション:A52DX
2002年 9月 JARL第47回特別総会
2011年10月 退職を前に山形県配属 JR4OZR開局

【私生活】
昨年やっとなり(1)60歳となり会社を定年退職。好きなアマチュア無線を思いっきりやれる環境になりました。
転勤時代を過ごした山形1市が大変気に入って、リタイア後の新天地は「第3の故郷」A4エリアにQSYと決め、現在シャックを岡上に建設中です。
以前からJARLの体制・運営については怒りを感じており、ある意味激しい報復して見せかけておりましたが、一歩批判するだけでは無責任であることも自覚してました。将来の日本のためにより何をすべき時期かとも思い悩んでおりました。

【新理事としての活動目標】

- ・「入るを限り出すを制す」!財政健全化にします
- ・JARLに未来はありません
- ・前納会員の権利保障
- ・JARLニュースのWEB化
- ・QSL転送サービスの合理化(受益者負担の原則等導入)
- ・日本型「Vanity Call Sign」の導入
- ・JARL版「LoTW」導入
- ・象さんグループ (http://www.144.jp/senkyo/)

神保勝利
JA4BXE
第1級アマチュア無線技士

【所信】
この度平成24年4月5日に行われる理事候補者(中国地方本部区域)の選挙に立候補させていただきます。JARLは一般社団法人として新しい改革でスタートしました。私も長い間「無線と歩んできました。この新しいJARLにとともに新しい気持ちで、会員のみなさんの意見交換をきっかけにJARLの改革に取り組んでいく決意です。
若い世代の経験・体力が今に生きる財産であると思っております。本気でアマチュア無線を続けたいと思っております。私もこの思いをこれから担う青少年の育成に力を注ぎ、最高の趣味であるアマチュア無線の発展のため、JARLの発展のために全力を尽くしたいと思存します。

- ・3級・4級アマチュア無線技士養成講座講師
- ・アマチュア無線中継局(JP4YCB 4398MHz) 管理員代表者

理事候補者(四国地方本部区域選出)

チェンジ、チェンジ、チェンジ!



JARLを改革するゾウ

JA5SUD

森田 耕司

【経歴】
1955年4月生まれ 会員歴40年
第1級アマチュア無線技士 1kW局
CW/SSB/RTTY運用中 現住所:香川県

【私生活】
◇無投票選挙による長期マンネリ体制
◇組織の硬直化—危機感もスピード感もない
◇世界から取り残されたバンドプラン、無線制度

【改革の方向】

- ◇新しいリーダーによる組織の活性化
- ◇総通との交渉力強化
- ◇事業の選択と集中で財政基盤の強化
- ◇利権、しがらみの排除—透明性の確保

【私生活】

- ◇賞賛納会員(終身会員)の権利保証
- ◇QSL転送制度の見直し(受益者負担の考え方を導入)
- ◇会員自らの組織運営と各種委員会の機能強化
- ◇赤字財政脱却(平成25年度)

【所信】
四国の会員の皆様の要望、意見窓口24時間OK
象さんグループホームページ (http://www.144.jp/senkyo/)

世代交代と新しいリーダーは四国から!


JA5GSG
大村 育子

【所信】
新生JARL(一般社団法人・日本アマチュア無線連盟)の幕開けは厳しい局面にあり、これまで皆様方と培ってきた活動や事業の見直しも余儀ない状況で、喫緊なことは健全な運営基盤を作ることと考えます。旧来にもまして知見が要求されます。会員の皆様方のご要望やご意見を理事会に反映させるのはもちろん、会員の皆様方との絆を第一に、各種問題に傾注し努力する所存です。
この立候補に際しぜひとも格別なご支援をお願い申し上げます。

【経歴】
昭和49年 第1級アマチュア無線技士
昭和59年 第3級無線通信士
平成4年~平成23年度 四国地方選出評議員
アマチュア無線講習会 講師及び管理者
JARL高知県支部顧問

理事候補者(九州地方本部区域選出)

チェンジ、チェンジ、チェンジ!



JARLを改革するゾウ

JA6GRA


田中 正喜

【経歴】
昭和42年3月JH1EPZ開局後 熊本八代市でJA6GRA開局
JARL 熊本支部長、JARL登録クラブ43-1-1 アマチュア無線八代クラブ代表
総務省・電波通正利用推進協議会熊本県推進員(特別推進員)、西日本ホームフェア実行委員

【所信】
支部長の経験を活かして諸問題に取り組みます
新法人移行を機に新生JARLが更に前進するよう未来へ向けて、会員の皆様と一緒に改革に努めます。会員の減少傾向や財政再建問題等々山積している課題に積極果敢に取り組めます

- (1)九州、沖縄8支部の維持に努めます。(2)JARL活動の原点である支部との連携
- (3)地域に密着した活動、行政機関との連携(防災訓練等)
- (4)「電波教室」や「物作り教室」による若年層の育成
- (5)クラブの復活、活性化
- (6)J・ニュース費、QSL費支出の見直し(受益者負担、電子化)

チェンジ、チェンジ、チェンジ!



JARLを改革するゾウ

「我々のJARL会費は、適正・合理的に使われていたか? 改革は我々の使命!」

JA6BXA

河喜多 勝 Since 1961

福岡市南区在住 第1級アマチュア無線技士

【活動目標】
象さんグループの統一マニフェストを目標とします。
★象さんグループHP (http://www.144.jp/senkyo/)

【所信と目標】

- JARL組織理念の再構築と待った無しの財務の改革を実行。このままでは、あと3年で倒産。収支赤字の現状を憂い、新理事に立候補しました。
- 事業や組織の見直しの中で地方本部の予算強化を図り、地方組織の強化に取り組むゾウ。

九州からJARLを変えよう! 貴方の1票でJARLが変わる!

理事候補者(北海道地方本部区域選出)

チェンジ、チェンジ、チェンジ!
JARLを改革する

あなたは「総務省登録アマ免許数は45万人、JARL会員は7万人」
これをどう思いますか!

JA8FXG

阿部 弘行
昭和26年生 札幌市在住
☆第1級アマチュア無線技士 (昭和53年取得)
☆元石狩後志支部長 2期4年 (昭和63年～平成4年5月)

—— 新理事としての目標 ——

- 官僚化した旧運営形態から新生JARL理事会機能に脱却!
- 地方本部会計をもっと明朗なものにして行きます
- 会員が平等なサービスを受けられる運営を実現したい
- マンネリ化する支部行事の内容向上を目指します。(お楽しみ抽選会は必要か)
- 象さんグループのマニフェストを支持します

象さんグループホームページ (<http://www.144.jp/senkyo/>)

—— 後継者の育成 ——

- ボランティア講師によって青少年が受講しやすい養成講習会を提案します。
- 行政との連携をとりながら、電波科学を趣味とするアマチュア無線を市民にPRします。

J A 8 C D T 加藤 喜一
第一級アマチュア無線技士
現職 理事(北海道地方本部長 理事)
5期10年間会員の皆様のご支援を御礼申しあげます。
若い方の激減、地域のクラブや学校クラブの消滅など
北海道のアマチュア無線は、衰退の一途をたどっており
ます。このような現状の中で、北海道のアマチュア無線
の活性化のために、北海道のために活動しております。
私は、以下に頑張ります。

- 1 特に若者の育成に努力します。
- 2 支部と連携し、クラブの復活に努力します。
- 3 北海道の8支部の維持に努力します。
- 4 会員目録で 活動します
- 5 会員の集う場の設定に努力します

やっとな長期ワマン体制から脱却できます! 皆様の一票で、いつも会員の声が反映できるJARLにしましょう!

理事候補者(北陸地方本部区域選出)

チェンジ、チェンジ、チェンジ!
JARLを改革する

JA9BOH

前川 公男
職業 専任教員
略歴 1949年生 1968年開局 会員歴40年 1アマ
1970年代に衛星、EME、MS(流星散乱)を始める
1984年 全日本10,000局よみうりアワード受賞
1999年 昭和基地より8J1RLを運用

—— 地方本部長として ——

- 登録クラブへの支援をします。
- 地方本部組織を見直します。
- 役員若返りを図ります。

—— 後継者の育成 ——

- ボランティア講師によって青少年が受講しやすい養成講習会を提案します。
- 行政との連携をとりながら、電波科学を趣味とするアマチュア無線を市民にPRします。

J A 9 B H E
柴田雄司 富山市在住
昭和23年9月4日生
昭和40年 電話級&電信級で開局
昭和41年 第2級アマチュア無線技士
昭和42年 第1級アマチュア無線技士
昭和42年 電話級無線通信士

所信

JARLの財務改善
取次の細部にわたり見直しが必要
アマチュア無線家の技術向上
設備の自作 修理ができるように
新しい技術の修得製作会 講習会など
JARL会員はアマチュア無線家の中でもエリート
的な存在に興味の世界であり 自己満足の世界です
が日々の勉強および活動によって地位向上に繋がっ
てくるのではないのでしょうか。

JARLの改革は、まだ終わっていないと考えて
立候補しました。

|||||||||||||| J A R L |||

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟

平成24年 理事候補者選挙

投票締切: 4月20日(金) 18時00分まで

【ご注意とお願い】

投票は、今回の投票用紙とともに同封されている「返信用の封筒(緑色)」を利用し
投票締切の日までに送付先へ必着するよう、必ず郵便によってご返送ください。連盟
事務局等へ直接お持ちになられても、投票の受付はお取り扱いできません。